

活動報告

平成28年度 JA 新潟厚生連臨床検査技師会学術活動

柏崎総合医療センター、検査科；臨床検査技師

つば 谷 貴 治

平成28年度にJA 新潟厚生連臨床検査技師会が企画運営した学術活動を報告する。「JA 新潟厚生連臨床検査技師会新人研修会」、「JA 新潟厚生連臨床検査技師会春季研修会」、「JA 新潟厚生連臨床検査技師会秋季研修会」の3研修会を行った。

今年度は7名の技師が採用され、5月に新採用技師全員の参加のもと新人研修会が行われた。就職から1ヶ月が経ち担当業務にも少しずつ慣れ、6月から始まる日当直業務に多少なり不安を感じている頃に行われる新人研修会は担当部署以外の業務も学べる貴重な研修会である。本会の御理解のもと、多くの新人を迎え入れる技師会としても新人教育はとても重要であると考ええる。受講された新人技師には各々の施設で成長し、地域医療を担い支える一員として信頼を得るとともに日常業務及び臨床検査技師会などで幅広い活躍を待望する。

春季研修会では医療技術国際展開推進事業に全国の中から選抜された当技師会会員の貴重な体験報告と、今後の臨床検査室の展望を見据えISO15189取得についての特別講演を企画した。秋季研修会では健診事業で話題となっている脂質関連と、血糖管理指標試薬と糖尿病についての特別講演を企画した。各研修会では活発な意見交換、情報交換もあり110名を超える参加者の熱気が感じられた。技師会活動に対する会員の御理解、御協力に深く感謝する。

日本医学検査学会、北日本支部医学検査学会、新潟県臨床検査技師会主催の県や各地区の学会及び研修会にも例年通り参加した。第65回日本医学検査学会はChallenge：－伝統の継続と未来への進化－をテーマに兵庫神戸市にて9月3日（土）・4日（日）の両日開催され、当検査技師会からは5名が参加することができた。また、今年は第32回世界医学検査学会も同時開催され、会員が英語での示説発表を行った。第5回日臨技北日本支部医学検査学会は10月1日（土）・2日（日）、新潟県新潟市で開催され、当技師会からは代表派遣20名の他に多数が参加した。また、実務委員、一般演題発表、座長、シンポジストなど様々な形で運営に協力し学会成功に貢献することができた。代表派遣に加え、世界医学検査学会への追加申請に対しての本会の御理解、御協力に深く感謝申し上げます。

昨年、「臨床検査技師等に関する法律」の一部が改正され、厚生労働省指定講習会が各地で通年開催されている。臨床検査技師としてさらに一步進むために、会員全ての受講を強く望む。激変する環境の中で、求められる臨床検査技師になるために、自ら考え、努力し続ける事が重要であると考ええる。

JA 新潟厚生連本会の学会、研修会派遣への御理解と御協力に深く感謝申し上げます。

以下に平成28年度の各研修会活動内容を示す。（所属病院、役職、姓名は研修会当時のものである）

【平成28年度 JA 新潟厚生連臨床検査技師会新人研修会】

日時：平成28年5月14日（土）

会場：JA 新潟厚生連長岡中央総合病院 講堂及び各検査室

内容：	（部 門）	（講 師）	
接 遇	「職場での接遇・心構え」	…古俣 直樹会長	（三条総合病院）
厚生連・技師会の概況と現状	…反町 彰志副会長		（魚沼病院）
血液検査	…小林由佳里技師		（柏崎総合医療センター）
微生物検査	…安藤 昭子主任技師		（豊栄病院）
生化学検査	…山川 栄一主任技師		（長岡中央総合病院）
実技講習 生理部門	…北見 嘉男技師		（村上総合病院）
	寺島 健技師		（魚沼病院）
	藤田 桂子技師		（長岡中央総合病院）
一般部門	…漆山 徹技師		（魚沼病院）
	林 典子技師		（長岡中央総合病院）

（受講対象者…7名）

草野 号（糸魚川総合病院）
竹部 和紗（糸魚川総合病院）
渡辺 翔太（けいなん総合病院）
野澤 昂朗（柏崎総合医療センター）
上野 莉奈（柏崎総合医療センター）
丸山 茜（新潟医療センター）

小林 裕真 (村上総合病院)

[順不同]

【平成28年度 JA 新潟厚生連臨床検査技師会春季研修会・総会】参加人数：124名

日時：平成28年6月4日(土)

会場：JA 新潟厚生連長岡中央総合病院 講堂及び各検査室

・特別講演

『厚生労働省平成27年度医療技術国際展開推進事業に参加して』

糸魚川総合病院 渡辺 直樹主任技師

『ISO15189臨床検査室認定の取得について』

シスメックス株式会社 学術推進部 ラボラトリーサポート推進課 猪俣 記一先生

・一般演題

座長…植木 基彦技師 (けいなん総合病院)

1. 『脊髄脂肪腫が疑われた1症例』 …中川 友也技師 (新潟医療センター)

2. 『CPX から見た心臓リハビリテーションの有効性～心リハ導入一年を経験して～』

…柿本 沙織技師 (上越総合病院)

3. 『当院における血液培養2セット採取率向上への取り組み』 …阿部 健司技師 (糸魚川総合病院)

・『熊本地震災害支援行動』派遣報告 寺島 健技師 (魚沼病院)

・施設代表者会議

・分科会

<一般検査研究班> 参加人数：10名

議事

・新役員の選出、引継ぎ

講義

『そこが知りたい便潜血検査』

栄研化学株式会社 営業統括部 マーケティング推進室 大島 知樹先生

<微生物研究班> 参加人数：13名

議事

・細菌担当者の名簿作成、自己紹介

アンケート調査による討論

グラム染色の細胞の数はどのように決めているか、血液培養や抗酸菌染色、集菌法、感染管理加算などのアンケート調査を行い、その集計結果をもとに討論しました。

各施設がどのようにやっているか情報を得るいい機会になりました。アンケートの内容は盛りだくさんで、今回のみで討論は終わりませんが、引き続き各論についてもアンケートを実施し、よりよい細菌検査の方法を模索していきたいと思えます。

<血液研究班>

議事

・新役員の選出

講義

『血液ガス分析の基礎と検体の取扱』

シーメンスヘルスケア ダイアグノスティックス 松嶋万由己先生

<病理細胞診研究班> 参加人数：10名

議事

・新役員の選出

症例検討

細胞診で胸水中のLE細胞を指摘したことがSLEの診断につながった症例を取り上げ、細胞像とSLEについての勉強をしました。

LE細胞自体実際に見たことがない者が多く、画像を見せても分かる者が少なかったので良い機会となったと思います。

細胞診で膠原病を疑うことは減多にないことですが、LE細胞は細胞診で検出可能であることから頭の片隅において鏡検していく必要があると思ひ、今回の分科会のテーマとしました。

<生化学研究班> 参加人数：19名

議事

・新役員の選出

研究班運営規程がなかったので、草案を作成し意見を求めた。

研究班長および副研究班長選定に問題があるとのことで、他研究班を参考にして再検討することとした。

講義

『最新の直接ビリルビンの動向』 LSI メディエンス

＜生理研究班＞ 参加人数：29名

講義

『医療機器の安全と電気』 日本光電北関東株式会社

・ 総会

◎平成28年度役員（所属は当時）

技師会長…古保	直樹	（三条総合病院）	
副会長…反町	彰志	（魚沼病院）	…（学術）担当
副会長…山宮	龍一	（新潟医療センター）	…（組織）担当
事務局長…坪谷	貴治	（柏崎総合医療センター）	
事務局員…佐藤	雅哉	（長岡中央総合病院）	
役員…阿部	健司	（糸魚川総合病院）	…（生理）担当
	…江口	克也（けいなん総合病院）	…（生化）担当
	…大瀧	直也（上越総合病院）	…（組織）担当
	…柳	明美（中条第二病院）	…（一般）担当
	…戸田	誠二（長岡中央総合病院病理部）	…（病理）担当
	…吉田	賢一（あがの市民病院）	…（学術）担当
	…関	元気（豊栄病院）	…（微生物）担当
	…中東	哲夫（村上総合病院）	…（検査システム）担当
	…笠井恵美子	（佐渡総合病院）	…（血液）担当
会計…内山	博子	（長岡中央総合病院）	
会計監査…高橋	清子	（柏崎総合医療センター）	
検査システム委員…中東	哲夫	（村上総合病院）	
ホームページ委員…山川	栄一	（長岡中央総合病院）	

◎平成28年度研究班役員（所属は当時）

【一般検査研究班】

班長…吉田 智子（豊栄）
副班長…吉浦 晶也（けいなん）
副班長…小浦方真弓（三条総合）
事務局…飯浜 綾子（長岡中央）

【血液研究班】

班長…片沼 和輝（上越総合）
副班長…宇佐美宏晃（糸魚川総合）

【生化学研究班】

班長…森山 直美（三条総合）
副班長…渡辺 直樹（糸魚川総合）
副班長…山川 栄一（長岡中央）

【微生物研究班】

班長…藤田 勝嘉（上越総合）
副班長…早川 宏美（村上総合）
副班長…飯塚 麻里（長岡中央）

【病理細胞診研究班】

班長…近藤 正（長岡中央）
副班長…塩田吉一郎（あがの市民）

【生理研究班】

班長…北見 嘉男（村上総合）
副班長…寺島 健（魚沼）
副班長…村山 深雪（あがの市民）
副班長…矢澤 侑子（上越総合）

・ 前年度最優秀演題、優秀演題表彰

●最優秀演題

『大腸菌のコロニーを分離できず診断に苦慮した EHEC 感染症の一症例』

石井 幸恵技師（長岡中央総合病院）

受賞理由：3類感染症として全数届け出義務がある腸管出血性大腸菌（EHEC）感染症。細菌学的検査である培養検査で大腸菌の発育が認められない症例に対し、臨床との患者情報共有により適切なタイミングでの追加検査が診断の確定につながった。

症例の臨床的重要性、希少性に加え、臨床との情報共有により早期診断につながった適切なタイミングでの追加検査の実施など、幅広い知識、見識も評価された。

●優秀演題

『アメーバ性大腸炎と診断された男性同性愛者の1例』

市野瀬 収技師（村上総合病院）

受賞理由：赤痢アメーバの早期診断に重要となる的確な検体採取、迅速な標本作成と検鏡を実践するとともに、未診断の HIV を拾い上げた臨床と検査室との連携など、希少症例の臨床的重要性とあわせ評価された。

要旨：特別講演1題目は糸魚川総合病院の渡辺直樹主任技師から厚生労働省の医療技術国際展開推進事業でアフリカのザンビア共和国へ派遣された貴重な体験を講演して頂きました。ザンビアの三大疾病はエイズ、マラリア、結核で HIV やマラリアの検査は POCT（簡易検査キット）を使用して行われています。都市部以外では医師がいない診療所で看護師と検査助手が POCT で検査を行っているのが現状で、POCT の精度管理や保管に問題のある施設もあるとの事。それらの改善や異常値の報告体制確立の必要性など、臨床検査技師として問題提起し、報告されていきました。医療後進国の現状を理解し、臨床検査技師の国際社会（医療後進国）

への貢献方法や重要性を知ることができました。

2 題目はシスメックス株式会社の猪俣記一先生のご講演でした。保険点数改訂で40点の加算となった ISO 15189認定臨床検査室。ISO15189に基づく臨床検査室の認定プログラムは公益財団法人日本適合性認定協会 (JAB) により2005年から開始されました。認定取得のためには膨大な費用と労力が掛かりますが、2016年4月20日現在で大学病院34施設、一般病院・健診センター26施設、検査センター・治験センター34施設の合計94施設が取得しています。費用対効果を考慮すると病床数500~600床でようやく採算が取れるとの事。取得方法、費用、審査の流れ、認定の継続などのお話しもあり、タイムリーでとても興味深い内容の講演でした。

一般演題は生理検査部門 2 演題、細菌検査部門 1 演題でしたが各演者の日頃の研究成果が伺える素晴らしい内容の発表でした。

熊本地震災害支援行動の派遣報告では全国から結集した臨床検査技師が被災地でエコノミークラス症候群の検査を実施し、罹患者数の把握と予防活動に尽力される姿が印象的でした。また、チーム医療の一員としての臨床検査技師の重要性、必要性を改めて認識しました。

各研究班は班長等の改選を行い、今後の活動計画や検討事項が合議されるとともに、講義も行われました。

【平成28年度 JA 新潟厚生連臨床検査技師会秋季研修会】参加人数：111名

日時：平成28年11月5日(土)

会場：JA 新潟厚生連長岡中央総合病院 講堂及び各検査室

・特別講演

【脂質関連検査の最近の話】

協和メデックス株式会社 営業支援部 西岡 達央先生

【糖尿病治療の変化と GA 活用提案】

旭化成ファーマ株式会社 診断薬製品部 和田 昭広先生

・第65回日本医学検査学会報告 兵庫県神戸市：平成28年9月3日(土)・4日(日)

寺島 健技師(魚沼病院)

宇佐美宏晃技師(糸魚川総合病院)

・第5回北日本支部医学検査学会報告 新潟県新潟市：平成28年10月1日(土)・2日(日)

藤田 陽介技師(糸魚川総合病院)

梅田 心平技師(豊栄病院)

中原 万里技師(佐渡総合病院)

・一般演題

座長…藤崎 朝美技師(上越総合病院)

1. 『血清蛋白分画で二峰性M蛋白を認めた一症例』 …松尾 洸技師(柏崎総合医療センター)

2. 『当院で経験したBombay型の一症例』 …小林由佳里技師(柏崎総合医療センター)

3. 『ハンドグリップ・クレンジングによる静脈血カリウム値の影響と採血時の回避策』 …林 春紀技師(佐渡総合病院)

座長…北見 嘉男技師(村上総合病院)

4. 『化学療法中に心不全を発症した2症例』 …今井 貴子技師(長岡中央総合病院)

5. 『臨床検査技師による病院外来受診の乳腺超音波検査』 …内山 浩美技師(柏崎総合医療センター)

・施設代表者会議

・分科会

<一般検査研究班> 参加人数：8名

講義

【尿中蛋白とその測定意義1】

シーメンスヘルスケア株式会社 LD プロダクトマネージャー 小坂 光郎先生

議事

・腹水・胸水検査：各施設の報告方法

・赤血球形態：各施設の報告方法

<微生物研究班> 参加人数：14名

議事

・アンケート調査に基づいた各病院の実施状況を確認。

・抗酸菌染色では、長岡中央の至急の件数が月間0件であり、何かエビデンスに基づいたルールがあるのなら教えて欲しいと依頼した。また、抗酸菌の集菌法を実施している施設が多い中、保険点数の請求をしていない施設がほとんどであった。蛍光顕微鏡が無くても集菌加算が取れるのかどうか、確認して、各病院に情報を流すよう取り決めた。

・グラム染色では、各施設1+、2+の基準がまちまちであったが、ASM(米国細菌学会)の推奨する基準を用いて判定することにした。

・厚生連病院間で症例や相談をしたいとの意見もあったため、規定を定めて細菌検査のメーリングリストを開設することにした。

<血液研究班> 参加人数：13名

講義

『線溶系の仕組みとマーカーの使い方』

アイ・エル・ジャパン株式会社 血液凝固学術部 阪田 敏幸先生

議事

・血算装置のメンテナンス講習会(12/10)についての説明

<病理細胞診研究班> 参加人数：13名

講義

『乳がんリンパ節転移診断(OSNA法)について』

乳癌センチネルリンパ節の迅速病理診断に代わる方法としてOSNA法が開発され、診療ガイドラインでも推奨されています。可溶化したリンパ節を遺伝子増幅反応に用いてリンパ節中の標的遺伝子を高精度、迅速、簡便に検出することができます。また、転移サイズの評価も可能です。講演後の質疑では、参加者のほぼ全員から質問、意見が出され、盛況でした。乳癌センチネルリンパ節の迅速診断としては充分有用な検査法と考えます。

<生化学研究班> 参加人数：11名

議事

- ・生化学研究班の運営規程作成。
- ・ニッターポー社製改良BUN試薬の検討。
(三条総合病院でのデータ取り結果の確認)
- ・統一試薬(11項目)の継続に関する検討。

【研究班の意見】

統一を外し、各施設が責任を持って選定し、ランニングを行う。
ランニング結果は研究班に報告する。

<生理研究班> 参加人数：24名

講義

『医療における安全』 日本光電北関東株式会社

要旨：今回、特別講演は生化学部門の2題でした。1題目は脂質に関する講演で、欧米と日本のガイドライン(治療、管理目標、運用)の相違点や来年改訂の動脈硬化性疾患予防ガイドラインの要点、LDL-C測定法の再評価についてお話し頂きました。LDL-C直接測定法の試薬は厚労省科学研究による検討を経て、12社から4社のみでの製造となりました。この4社の製品は正確性、再現性ともに良好ですが、測定原理の違いから標準化にはなっていません。このことから特定健診におけるLDL-C直接法は健康局では廃止、保健局では現状維持と、異なる見解がなされています。両局の見解を踏まえた今後発表される中間取りまとめを注視する必要がありますと感じました。2題目は日本発の血糖管理指標であるグリコアルブミン(GA)について糖尿病治療と関連付けて講演して頂きました。また、血糖管理に現在最も用いられているHbA1cとの比較やGAの利点、欠点のお話しもあり、血糖変動の把握におけるGAの有用性を理解することができ、今後の運用に大いに役立つ内容でした。

一般演題は生化学部門、輸血部門、生理検査部門の希少症例報告、臨床検査技師による乳腺超音波検査の評価、採血関連の5題と多岐分野に渡り、充実した発表内容となりました。

各研究班では講師を招いた講義、業務上の情報共有や今後の活動が検討され、活発な分科会となりました。

【平成28年度学会派遣状況】

第32回世界医学検査学会

兵庫県神戸市：8月31日(水)～9月4日(日)

寺島 健(魚沼病院) 示説発表(英語)

第65回日本医学検査学会

兵庫県神戸市：9月3日(土)・4日(日)

代表派遣5名

斉藤 佳子(佐渡総合病院)
宇佐美宏晃(糸魚川総合病院)
近 柚香(上越総合病院)
寺島 健(魚沼病院)
登坂 友香(長岡中央総合病院病理部)

第5回日臨技北日本支部医学検査学会

新潟県新潟市：10月1日(土)・2日(日)

代表派遣20名+他5名

藤田 陽介(糸魚川総合病院)	貝沼 宏樹(糸魚川総合病院)
江口 克也(けいなん総合病院)	大瀧 直也(上越総合病院)
片沼 和輝(上越総合病院)	坪谷 貴治(柏崎総合医療センター)
内山 浩美(柏崎総合医療センター)	樋熊 清子(中条第二病院)

反町 彰志 (魚沼病院)	大矢 佳奈 (長岡中央総合病院)
中野佳菜子 (長岡中央総合病院)	石井 幸恵 (長岡中央総合病院)
長谷川秀浩 (新潟医療センター)	中川 友也 (新潟医療センター)
梅田 心平 (豊栄病院)	中東 哲夫 (村上総合病院)
市野瀬 収 (村上総合病院)	笠井恵美子 (佐渡総合病院)
林 春紀 (佐渡総合病院)	中原 万里 (佐渡総合病院)
寺島 健 (魚沼病院：新潟県臨床検査技師会派遣)	
山川 栄一 (長岡中央総合病院：新潟県臨床検査技師会派遣)	
佐藤 卓 (新潟医療センター：新潟県臨床検査技師会派遣)	
近藤 善仁 (あがの市民病院：新潟県臨床検査技師会派遣)	
小宮山謙一 (佐渡総合病院：新潟県臨床検査技師会派遣)	

【平成28年度研究班研修会】

輸血実技講習会 (血液研究班主催)：7月2日 (土)

会場：北里大学保健衛生専門学院

講師：認定輸血検査技師、血液研究班役員他

参加人数：12名

血液研究班研修会：12月10日 (土)

会場：長岡中央総合病院

『多項目自動血球分析装置 XT・XE シリーズの測定原理とスキュッタグラムの解釈』

『XT・XE シリーズのユーザーメンテナンスとトラブルシューティング』

講師：シスメックス株式会社 北関東支店 学術サポート課

参加人数：16名 (予定)

(2016/11/29受付)